

凡例

一、この訳注本は、『歴代寶案』校訂本第七冊 第二集巻七五～八九（沖縄県立図書館史料編集室編、沖縄県教育委員会刊、一九九四年）を底本とする。

一、訳注に当たっては原典の文章に忠実であることをむねとする。参照すべき文献がある場合も、明白に誤字・脱字等と認められる場合にのみ校訂を施し、『歴代寶案』のオリジナルテキストとしての性格を最大限に重んじた。

一、訳文は次の通りとする。

- 1、各文書に簡単な見出しを付す。
- 2、いわゆる読み下し文とする。
- 3、現代仮名遣いを用いる。
- 4、原文の漢字はなるべく残す。
- 5、難読の漢字にふりがなを付す。
- 6、異字・俗字・略字などは、原則として正字（常用漢字を含む）、あるいは通用の字体に改める。数字は簡略な表記とする（例 壹↓一、貳↓二）。同義の字は通用の字体に統一した場合がある。
- 7、避諱や清朝の政策による文字の置き換えは、原文のままとする。
- 8、送りがなについては、一般的用法と異なる場合がある。
- 9、平出・擡頭はとらない。
- 10、文字の大きさはほぼ原文にしたがう。
- 11、不明箇所は、字数の判明するものについてはその字数分を□で示し、わからない場合は……で示す。
- 12、個人の書きくせなどによる明白な誤字・誤用には特に校訂や注記をしない。
- 13、人名の姓または名を欠くもので、判明するものについては（ ）を付して補う。

14、年号には《 》を付して西暦を補う。ただし月日は原文のままとし、太陽暦に置きかえない。したがって十二月末などで、西暦が実際と異なる場合がある。

15、文書の宛先・年月日記載の位置は必ずしも同一ではないが、便宜的に統一して記す。

16、適宜改行し、また「『』」のカッコを用いた。

一、注釈は次の通りとする。

1、文書ごとに、文書に続けて付す。

2、注は原則として再記しない。

3、『歴代宝案』文書番号については、第一集のみ〔二一〇一〇一〕のように、集・巻・文書番号を示したが、第二集は集番号を除き単に〔〇一〇一〕とした。

4、琉球国王・中国皇帝（清代）は、在位年代、系譜などを一括して表記する。

5、注索引は各冊ごとにつける。

6、訳注全般に参照した辞書・文献は別表の通りである。これらについては個別に出典を記載しない。ただし必要な場合には、（ ）内に示した略称によって注記する。なお、個々に参照した文献・研究書・論文等については、当該の個所に記すにとどめる。

一、本冊の訳注は濱下武志が担当し、黨武彦・林正子の各氏の協力を得た。

参考文献

() は本冊での略称

諸橋轍次著 『大漢和辞典』 大修館書店 一九八四年修訂版

中文大辞典編纂委員会編 『中文大辞典』 台北 中国文化大学出版社

一九七三年

漢語大詞典編輯委員会漢語大詞典編纂処編 『漢語大詞典』 漢語大詞典

出版社 一九八五年—一九四年

愛知大学中日大辞典編纂処編 『中日大辞典』 大修館書店 一九八六年

増訂版

井上翠著 『中国語新辞典』 江南書院 一九五四年

塩谷温編 『新字鑑』 弘道館 一九三九年

石山福治編 『中国語大辞典』 国書刊行会 一九七四年

尾崎雄二郎他編 『角川大辞源』 角川書店 一九九二年

香坂順一他編 『中国語大辞典』 角川書店 一九九三年

白川静著 『字通』 平凡社 一九九六年

佐伯富編 『福恵全書語彙解』 同朋舎出版部 一九七五年

劉文傑著 『歴史文書用語辞典—明・清・民国部分』 四川人民出版社

一九八八年

雷榮廠・姚楽野著 『清代文書綱要』 四川大学出版社 一九九〇年

倪道善編著 『明清檔案概論』 四川大学出版社 一九九二年

張我德・楊若荷・裴燕生編著 『清代文書』 中国人民大学出版社

一九九六年

植田捷雄他篇 『中国外交文書辞典(清末編)』 一九五四年 国書刊行

会影印本 一九八五年

星斌夫編 『中国社会經濟史語彙(正篇)』 光文堂書店 一九六六年

星斌夫編 『中国社会經濟史語彙(続編)』 光文堂書店 一九七五年

星斌夫・鈴井正孝・中道邦彦編 『中国社会經濟史語彙(三篇)』 光文

堂書店 一九八八年

徐望之『公牘通論』 中文出版社 一九七九年

山腰敏寛編 『清末民初文書読解辞典』 汲古書院 一九八九年

山腰敏寛編 『中国歴史公文書読解辞典』 汲古書院 二〇〇四年

『歴代宝案』を讀むための用語解説』(『歴代宝案』訳注本第二冊所収)

沖繩県教育委員会 一九九七年

前間恭作遺稿・末松保和編纂 『訓読史文 附史文輯覽』 一九四二年

国書刊行会影印本 一九七五年

『六部成語註解』 一九四〇年 大安影印本 一九六二年 浙江古籍出

版社標点本 一九八七年

『清代六部成語詞典』 天津人民出版社 一九九〇年

『アジア歴史事典』 平凡社 一九五九—六二年

孟慶遠主編・小島晋治・立間祥介・丸山松幸訳 『中国歴史文化事典』

新潮社 一九九八年

『沖繩大百科事典』 沖繩タイムズ社 一九八三年 (『大百科』)

『角川日本地名大辞典四七 沖繩県』 角川書店 一九八六年

『沖繩県姓氏家系大辞典』 角川日本姓氏歴史人物大辞典四七 角川書

店 一九九二年

周汎・高春明編著 『中国衣冠服飾大辞典』 上海 辞書出版社

一九九六年

譚其驥主編 『中国歴史地図集 第八冊 清時期』 上海 地圖出版社

一九八七年

臧勵蘇等編『中國古今地名大辭典』商務印書館 一九三一年

魏嵩山編『中國歷史地名大辭典』廣東教育出版社 一九九五年

趙泉澄『清代地理沿革表』文海出版社(台灣)影印 一九七九年

『福建省地圖冊』福建省地圖出版社 一九九〇年

『中華人民共和國 地名詞典』(台灣省) 南務印書館 一九九〇年

『中華人民共和國 地名詞典』(福建省) 南務印書館 一九九五年

陳正祥『台灣地名大辭典』南天書局 一九九三年

浙江省測繪局編制『浙江省地圖冊』中華地圖出版社 一九九八年

『清史列傳』北京 中華書局點校本 一九八七年

錢寅甫編『清代職官年表』北京 中華書局 一九八〇年

章伯鋒編『清代各地將軍都統大臣等年表』北京 中華書局 一九六五年

一九六五年

『中國第一歷史檔案館藏 清代官員履歷檔案全編』華東師範大學出版社 一九九七年

社 一九九七年

臨時台灣旧慣調查會編『清國行政法』一九〇五—一五年 大安影印本

一九六五—六六年

張德沢編著『清代國家機關考略』北京 中國人民大學出版社 一九八一年

一九八一年

李鵬年等編著『清代中央國家機關概述』北京 紫禁城出版社 一九八九年

一九八九年

劉子揚編著『清代地方官制考』北京 紫禁城出版社 一九八八年

『那霸市史 資料篇第一卷四 歷代宝案第一集抄』那霸市企画部文化

振興課 一九八六年

『那霸市史 資料篇第一卷五 家譜資料(一)』那霸市企画部市史編集

室 一九七六年(『家譜(一)』)

『那霸市史 資料篇第一卷六 家譜資料(二)』那霸市企画部市史編集

室 一九八〇年(『家譜(二)』)

『那霸市史 資料篇第一卷七 家譜資料(三)』那霸市企画部市史編集

室 一九八二年(『家譜(三)』)

『那霸市史 資料篇第一卷八 家譜資料(四)』那霸市企画部市史編集

室 一九八三年(『家譜(四)』)

『中山世譜』琉球史料叢書四 一九四二年 井上書房影印本 一九六

二年(『世譜』)

『蔡鐸本中山世譜』沖繩県教育委員會 一九七三年

『中山世鑑』琉球史料叢書五 一九四二年 井上書房影印本 一九六

二年(『世鑑』)

球陽研究会編『球陽·原文編』角川書店 一九七四年

徐葆光著·原田禹雄訳注『中山伝信録』榕樹書林 一九九九年

周煌著·原田禹雄訳注『琉球国志略』榕樹書林 二〇〇三年

李鼎元著·原田禹雄訳注『使琉球記』榕樹書林 二〇〇七年

『清代中琉關係檔案選編』中國第一歷史檔案館 一九九三年

(『選編』)

『清代中琉關係檔案統編』中國第一歷史檔案館 一九九四年

(『統編』)

『清代中琉關係檔案三編』中國第一歷史檔案館 一九九六年

(『三編』)

『清代中琉關係檔案四編』中國第一歷史檔案館 一九九九年

〔四編〕

『清代中琉關係檔案五編』 中国第一歴史檔案館 二〇〇二年

〔五編〕

『清代中琉關係檔案六編』 中国第一歴史檔案館 二〇〇五年

〔六編〕

『清代琉球国王表奏文書選録』 中国第一歴史檔案館 一九九七年

〔表奏文書選録〕

『乾隆朝上諭檔』 中国第一歴史檔案館 一九九一年

『嘉慶道光兩朝上諭檔』 中国第一歴史檔案館 二〇〇〇年

中央研究院歴史語言研究所編刊 『明清史料』(甲—癸編) 一九三〇—

七五年 台北 維新書局影印本 一九七二年

張偉仁編 『明清檔案』 中央研究院歴史語言研究所 一九八六年

『大清歷朝實録』 満洲国国務院影印本 一九三七年 台北 華文書局

一九六四年、北京 中華書局影印本 一九八六—八七年

『清実録』 北京 中華書局影印本 一九八五—八七年

日本史料集成編纂会編 『中国・朝鮮の史籍における日本史料集成 清

実録之部 (一)』、『同、(二)』 国書刊行会 一九七六年

趙爾巽撰 『清史稿』 北京 中華書局 標点本 一九七七年

国史館編 『清史稿校註』 台北 国史館刊 一九八六—九一年

『嘉慶欽定大清会典事例』 嘉慶二十三年

『清会典』、『清会典事例』、『清会典図』 光緒二十五年 北京 中華書局

影印本 一九九一年

陳寿祺等纂修 『福建通志』 同治十年重刊本 (中国省志彙編之九 台

北 華文書局 一九六八年)

沈翼機等撰 『浙江通志』 乾隆元年重修本 (中国省志彙編之二 台北

華文書局 一九六七年)

『琉球歴史關係国際学術会議論文集』 第一回—第十回 一九八六—二

〇〇五年

『琉球・中国交渉史に関するシンポジウム論文集』 第一回—第八回

沖繩県教育委員会 一九九三—二〇〇七年

『歴代宝案研究紀要』 第一号—第十号 沖繩県教育委員会 一九九〇

—一九九九年

琉球国王・中国皇帝（清代）一覽表

琉球国中山王（第二尚氏王統）

代	王名	生没年	在位年代	系譜関係	冊封年・冊封使
1	尚 円	1415－1476	成化6(1470)－成化12(1476)		成化8(1472) 官榮・韓文
2	尚 宣威	1430－1477	成化13(1477)	尚円の弟	
3	尚 真	1465－1526	成化13(1477)－嘉靖5(1526)	尚円の長子	成化15(1479) 董旻・張祥
4	尚 清	1497－1555	嘉靖6(1527)－嘉靖34(1555)	尚真の第5子	嘉靖13(1534) 陳侃・高澄
5	尚 元	1528－1572	嘉靖35(1556)－隆慶6(1572)	尚清の第2子	嘉靖41(1562) 郭汝霖・李際春
6	尚 永	1559－1588	万曆元(1573)－万曆16(1588)	尚元の第2子	万曆7(1579) 蕭崇業・謝杰
7	尚 寧	1564－1620	万曆17(1589)－泰昌元(1620)	尚真の玄孫	万曆34(1606) 夏子陽・王士禎
8	尚 豊	1590－1640	天啓元(1621)－崇禎13(1640)	尚元の孫	崇禎6(1633) 杜三策・楊掄
9	尚 賢	1625－1647	崇禎14(1641)－順治4(1647)	尚豊の第3子	
10	尚 質	1629－1668	順治5(1648)－康熙7(1668)	尚豊の第4子	康熙2(1663) 張學礼・王垓
11	尚 貞	1645－1709	康熙8(1669)－康熙48(1709)	尚質の長子	康熙22(1683) 汪楫・林麟焜
12	尚 益	1678－1712	康熙49(1710)－康熙51(1712)	尚貞の孫	
13	尚 敬	1700－1751	康熙52(1713)－乾隆16(1751)	尚益の長子	康熙58(1719) 海宝・徐葆光
14	尚 穆	1739－1794	乾隆17(1752)－乾隆59(1794)	尚敬の長子	乾隆21(1756) 全魁・周煌
15	尚 温	1784－1802	乾隆60(1795)－嘉慶7(1802)	尚穆の孫	嘉慶5(1800) 趙文楷・李鼎元
16	尚 成	1800－1803	嘉慶8(1803)	尚温の長子	
17	尚 灝	1787－1834	嘉慶9(1804)－道光14(1834)	尚穆の孫	嘉慶13(1808) 齊鯤・費錫章
18	尚 育	1813－1847	道光15(1835)－道光27(1847)	尚灝の長子	道光18(1838) 林鴻年・高人鑑
19	尚 泰	1834－1901	道光28(1848)－同治11(1872)	尚育の第2子	同治5(1866) 趙新・于光甲

中国皇帝（清代）

代	廟号 通称	諱（諡）	生没年	在位年代	系譜関係
1	太祖	努爾哈赤 ヌルハチ	1559－1626	天命元(1616)－天命11(1626)	(愛新覺羅氏)
2	太宗	皇太極 ホンタイジ	1592－1643	天命11(1626)－崇徳8(1643)	ヌルハチの第8子
3	世祖 順治帝	福臨（章皇帝）	1638－1661	崇徳8(1643)－順治18(1661)	ホンタイジの第9子
4	聖祖 康熙帝	玄燁（仁皇帝）	1654－1722	順治18(1661)－康熙61(1722)	順治帝の第3子
5	世宗 雍正帝	胤禛（憲皇帝）	1678－1735	康熙61(1722)－雍正13(1735)	康熙帝の第4子
6	高宗 乾隆帝	弘曆（純皇帝）	1711－1799	雍正13(1735)－乾隆60(1795)	雍正帝の第4子
7	仁宗 嘉慶帝	顥琰（睿皇帝）	1760－1820	嘉慶元(1796)－嘉慶25(1820)	乾隆帝の第15子
8	宣宗 道光帝	旻寧（成皇帝）	1782－1850	嘉慶25(1820)－道光30(1850)	嘉慶帝の第2子
9	文宗 咸豊帝	奕訢（顯皇帝）	1831－1861	道光30(1850)－咸豊11(1861)	道光帝の第4子
10	穆宗 同治帝	載淳（毅皇帝）	1856－1875	咸豊11(1861)－同治13(1874)	咸豊帝の長子
11	徳宗 光緒帝	載湉（景皇帝）	1871－1908	同治13(1874)－光緒34(1908)	道光帝の孫
12	宣統帝	溥儀	1906－1967	光緒34(1908)－宣統3(1911)	光緒帝の甥

歴代宝案 訳注本 第七冊

目次

教育長挨拶

凡例

参考文献

琉球国王・中国皇帝（清代）一覧表

目次

卷七五（乾隆五十三年～乾隆五十五年）

二七五〇一	国王尚穆の、乾隆五十三年の進貢の表（乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	1
二七五〇二	国王尚穆の、乾隆五十三年の謝恩の表（乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	3
二七五〇三	国王尚穆の、乾隆四十九年の進貢における賞賜への謝恩の奏（乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	4
二七五〇四	国王尚穆より礼部あて、乾隆五十三年の進貢・謝恩使を派遣するむねの咨（乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	6
二七五〇五	国王尚穆より礼部あて、乾隆四十九年の進貢使への頒賞・筵宴等についての礼部の咨を受領したむねの咨覆 （乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	8
二七五〇六	国王尚穆より礼部あて、乾隆四十九年の進貢使への格別の賞賜などについての礼部の咨を受領したむねの咨覆 （乾隆五十三《一七八八》、十一、一二）	10

- 二一七五〇七 国王尚穆より礼部あて、乾隆四十九年の進貢使への頒賞、御書匾額の頒賜に対する謝恩の奏の写しを
送付するむねの咨（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 12
- 二一七五〇八 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十三年の進貢使を派遣するむねの咨
（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 13
- 二一七五〇九 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十三年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆
（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 14
- 二一七五一〇 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆四十九年の進貢使への頒賞、御書匾額の頒賜に対する謝恩の奏の写しを
送付するむねの咨（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 15
- 二一七五一一 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の接貢船を探問するむねの咨（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 16
- 二一七五一二 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球難民登里城等の救助・送還についての布政司の咨を受領したむねの咨覆
（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 17
- 二一七五一一三 国王尚穆の、進貢のため紫巾官向処中等を派遣するむねの符文（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 23
- 二一七五一一四 国王尚穆の、進貢のため紫巾官向処中等を派遣するむねの執照（頭号船）（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 26
- 二一七五一一五 国王尚穆の、進貢のため都通事蔡永思等を派遣するむねの執照（二号船）（乾隆五十三《一七八八》、十一、二）…… 27
- 二一七五一一六 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢関連事項の処置、乾隆五十一年の副使阮廷宝の病故、
および嚴禁の大黃の収買について通知する咨（乾隆五十五《一七九〇》、三、十二）…… 28
- 二一七五一一七 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十三年の曆書（時憲書）を頒布するむねの咨
（乾隆五十四《一七八九》、十、十二）…… 34
- 二一七五一一八 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十四年の接貢船を派遣するむねの咨（乾隆五十四《一七八九》）…… 35
- 二一七五一一九 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十四年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆
（乾隆五十四《一七八九》）…… 36
- 二一七五一二〇 国王尚穆より福建布政使司あて、遭難した乾隆五十二年の接貢船の処置に関する布政司の咨を受領したむねの咨覆

(乾隆五十四《一七八九》) …… 36

二一七五二一 国王尚穆より福建布政使司あて、病故した副使阮廷宝の埋葬および琉球難民平良等の救助・送還についての

布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十四《一七八九》) …… 40

二一七五二二 国王尚穆より福建布政使司あて、嚴禁の大黃の収買許可に謝するむねの咨覆(乾隆五十四《一七八九》) …… 45

二一七五二三 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨(乾隆五十四《一七八九》) …… 47

二一七五二四 国王尚穆の、接貢のため都通事王三秀等を派遣するむねの執照(乾隆五十四《一七八九》) …… 47

卷七六(乾隆五十五年、乾隆五十六年)

二一七六〇一 皇帝より国王尚穆あて、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭(乾隆五十五《一七九〇》、一、二七八) …… 49

二一七六〇二 礼部より国王尚穆あて、乾隆四十九年の進貢における謝恩の奏を御覽に呈するむねの咨

(乾隆五十五《一七九〇》、二、□) …… 50

二一七六〇三 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢の方物の受領と、御書匾額への謝恩の方物については

今回の正貢にあててを伝える咨(乾隆五十五《一七九〇》、二) …… 50

二一七六〇四 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢の奏を御覽に呈するむねの咨(乾隆五十五《一七九〇》、二、□) …… 51

二一七六〇五 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の謝恩の奏を御覽に呈するむねの咨(乾隆五十五《一七九〇》、二、□) …… 51

二一七六〇六 礼部より国王尚穆あて、恩詔(宝詔)を在京の使臣に頒布し、本国に齎捧させることを伝える咨

(乾隆五十五《一七九〇》、一、□) …… 51

二一七六〇七 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢使への賞賜・筵宴について知らせる咨

(乾隆五十五《一七九〇》、一、□) …… 52

二一七六〇八 礼部より国王尚穆あて、乾隆四十九年の進貢における謝恩の奏を御覽に呈するむねの咨

(乾隆五十五《一七九〇》、二、□) …… 53

二一七六〇九 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢使への賞賜・筵宴について知らせる咨

二一七六一〇 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の謝恩の方物を受領し、次回の正貢にあててを免ずるむねの咨(付 上奏文)
(乾隆五十五《一七九〇》、一、□) …… 53

二一七六一一 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢使への格外的筵宴・賞賜について知らせる咨(付 賞賜の単)
(乾隆五十五《一七九〇》、二、□) …… 54

二一七六一二 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十三年の進貢、乾隆五十四年の接貢関連事項の処置について知らせる咨
(乾隆五十五《一七九〇》、一、□) …… 56

二一七六一三 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十六年の曆書(時憲書)を頒布するむねの咨
(乾隆五十六《一七九一》、五) …… 58

二一七六一四 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民亀浜・知念・伊波等を救助し、送還するむねの咨
(乾隆五十五《一七九〇》、十、十八) …… 64

二一七六一五 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民安仁屋等を救助し、送還するむねの咨
(乾隆五十六《一七九一》、四、二十) …… 65

二一七六一六 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民安仁屋等を救助し、送還するむねの咨
(乾隆五十六《一七九一》、十一、四) …… 70

卷七七 (乾隆五十五年～乾隆五十七年)

二一七七〇一 国王尚穆の、乾隆五十五年の進貢の表(乾隆五十五《一七九〇》、十一、一二) …… 75

二一七七〇二 国王尚穆の、乾隆五十一年の進貢における賞賜への謝恩の奏(乾隆五十五《一七九〇》、十一、一二) …… 76

二一七七〇三 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十五年の進貢使を派遣するむねの咨(乾隆五十五《一七九〇》、十一、一二) …… 77

二一七七〇四 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十一年の進貢関連事項の処置についての礼部の咨を受領したむねの咨覆
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、一二) …… 78

二一七七〇五 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十一年の進貢における格外的筵宴・賞賜についての礼部の咨を受領したむねの咨覆
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、一二) …… 79

- 二七七七〇六 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十一年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 80
- 二七七七〇七 国王尚穆より礼部あて、病故した乾隆五十一年の使臣阮廷宝の撫恤についての礼部の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 81
- 二七七七〇八 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十五年の進貢使を派遣するむねの咨
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 82
- 二七七七〇九 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十五年の曆書(時憲書)を受領したむねの咨覆
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 82
- 二七七七一〇 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十一年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 83
- 二七七七一 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の接貢船を探問するむねの咨(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 84
- 二七七七一 国王尚穆の、進貢のため耳目官馬繼謨等を遣わすむねの符文(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 84
- 二七七七一 国王尚穆の、進貢のため耳目官馬繼謨等を遣わすむねの執照(頭号船)(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 86
- 二七七七一 国王尚穆の、進貢のため都通事陳国佐等を遣わすむねの執照(二号船)(乾隆五十五《一七九〇》、十一、二) …… 87
- 二七七七一 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢関連事項の処置および琉球の難民古波津等の救助について
通知するむねの咨(乾隆五十七《一七九二》、閏四、二十二) …… 87
- 二七七七一 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十七年の曆書(時憲書)を頒布するむねの咨
(乾隆五十六《一七九二》、十一、十四) …… 93
- 二七七七一 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民国吉・当間等を救助し、送還するむねの咨
(乾隆五十七《一七九二》、三、一) …… 93
- 二七七七一 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民向開基等を救助し、送還するむねの咨
(乾隆五十七《一七九二》、二、十五) …… 100

二七七一―一九 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十六年の接貢船を派遣するむねの咨

(乾隆五十六《一七九二》、十一、八) ……

104

二七七一―二〇 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十六年の曆書(時憲書)を受領したむねの咨覆

(乾隆五十六《一七九二》、十一、八) ……

105

二七七一―二一 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨(乾隆五十六《一七九二》、十一、八) ……

105

二七七一―二二 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十三年の進貢、乾隆五十四年の接貢関連事項の処置についての布政司の咨を

受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十六《一七九二》) ……

106

二七七一―二三 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球の難民亀浜・知念・伊波等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、

その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十六《一七九二》、□、□) ……

110

卷七八(乾隆五十六年―乾隆五十八年)

二七七八―〇一 皇帝より国王尚穆あて、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭(乾隆五十七《一七九二》、一、□) ……

115

二七七八―〇二 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢使の北京到着と方物受領を知らせる咨(付 上奏文)

(乾隆五十六《一七九二》、十二、□) ……

115

二七七八―〇三 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢使への賞賜について知らせる咨(乾隆五十七《一七九二》、一、□) ……

116

二七七八―〇四 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢の方物を受領したことを知らせる咨

(乾隆五十七《一七九二》、一、□) ……

117

二七七八―〇五 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢使への筵宴について知らせる咨(乾隆五十七《一七九二》、一) ……

117

二七七八―〇六 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢の表を御覽に呈するむねの咨(乾隆五十七《一七九二》、二、□) ……

117

二七七八―〇七 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十一年の進貢における賞賜への謝恩の表を御覽に呈するむねの咨

(乾隆五十七《一七九二》、二、□) ……

118

二七七八―〇八 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢使への格外的筵宴・賞賜について知らせる咨

(乾隆五十七《一七九二》、一、□) …… 118

二七八一〇九 礼部より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢使への賞賜について知らせる咨(乾隆五十七《一七九二》、一、□) …… 120

二七八一〇〇 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十五年の進貢、乾隆五十六年の接貢関連事項の処置について知らせる咨(乾隆五十八《一七九三》、五、三十) …… 120

二七八一〇一 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十九年の曆書(時憲書)を頒布するむねの咨(乾隆五十八《一七九三》、十一、十六) …… 126

二七八一〇二 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民国吉・宜寿次等を救助し、送還するむねの咨(乾隆五十八《一七九三》、六、十八) …… 127

卷七九(乾隆五十七年)

二七九一〇一 国王尚穆の、乾隆五十七年の進貢の表(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 133

二七九一〇二 国王尚穆の、乾隆五十七年の謝恩の表(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 134

二七九一〇三 国王尚穆の、乾隆五十三年の進貢における賞賜への謝恩の奏(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 135

二七九一〇四 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十七年の進貢使を派遣するむねの咨(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 137

二七九一〇五 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十三年の進貢使への賞賜・筵宴等についての礼部の咨を受領したむねの咨覆(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 138

二七九一〇六 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十三年の進貢使への恩詔の頒賞、格別の宴筵・賞賜等についての礼部の咨を受領したむねの咨覆(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 139

二七九一〇七 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十三年の謝恩の方物を次回の正貢にあてることを免じ、方物受領を許可した礼部の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 141

二七九一〇八 国王尚穆より礼部あて、乾隆五十三年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨(乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 143

二一七九一〇九 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十七年の進貢使を派遣するむねの咨 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 144

二一七九一〇 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十七年の曆書(時憲書)を受領したむねの咨覆 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 145

二一七九一一 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十三年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 145

二一七九一二 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の接貢船を探問するむねの咨 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 147

二一七九一三 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十五年の進貢関連事項の処置、琉球の難民古波津等の救助・送還についての
布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 147

二一七九一四 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球の難民安仁屋等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 152

二一七九一五 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球の難民国吉・当間等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 156

二一七九一六 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球の難民向開基等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 162

二一七九一七 国王尚穆の、進貢のため紫巾官毛国棟等を派遣するむねの符文 (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 166

二一七九一八 国王尚穆の、進貢のため紫巾官毛国棟等を派遣するむねの執照(頭号船) (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 168

二一七九一九 国王尚穆の、進貢のため都通事陳宏毅等を派遣するむねの執照(二号船) (乾隆五十七《一七九二》、十一、十九) …… 169

卷八〇(乾隆五十八年~乾隆五十九年)

二一八〇一〇一 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十七年の進貢関連事項の処置について通知するむねの咨 (乾隆五十九《一七九四》、五、二十三) …… 171

二一八〇一〇二 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆五十七年の進貢頭号船損壊のため代替商船で帰国させるむねの咨

(乾隆五十九《一七九四》、七、二十七) ……

175

二一八〇一〇三 福建布政使司より国王尚穆あて、乾隆六十年の曆書(時憲書)を頒布するむねの咨

(乾隆五十九《一七九四》、二、九) ……

181

二一八〇一〇四 福建布政使司より国王尚穆あて、琉球の難民宮平・比嘉等を救助し、送還するむねの咨

(乾隆五十九《一七九四》、五、十九) ……

182

二一八〇一〇五 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十八年の接貢船を派遣するむねの咨

(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

186

二一八〇一〇六 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十八年の曆書(時憲書)を受領したむねの咨覆

(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

186

二一八〇一〇七 国王尚穆より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

187

二一八〇一〇八 国王尚穆より福建布政使司あて、乾隆五十五年の進貢、乾隆五十六年の接貢関連事項の処置についての

布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

188

二一八〇一〇九 国王尚穆より福建布政使司あて、琉球の難民国吉・宜寿次等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、

その措置に謝するむねの咨覆(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

193

二一八〇一〇一〇 国王尚穆の、接貢のため都通事阮成善等を派遣するむねの執照(乾隆五十八《一七九三》、十一、三) ……

197

卷八一(欠)

卷八二(乾隆五十九年)

二一八二一〇一 世孫尚温の、乾隆五十九年の進貢の表(乾隆五十九《一七九四》、十一、六) ……

199

二一八二一〇二 世孫尚温の、乾隆五十九年の謝恩の表(乾隆五十九《一七九四》、十一、六) ……

200

- 二八二一〇三 世孫尚温の、乾隆五十五年の進貢における賞賜への謝恩の奏（乾隆五十九《一七九四》、十一、六）…………… 201
- 二八二一〇四 世孫尚温より礼部あて、乾隆五十九年の進貢使を派遣するむねの咨（乾隆五十九《一七九四》）…………… 202
- 二八二一〇五 世孫尚温より礼部あて、乾隆五十五年の進貢使への賞賜についての礼部の咨を受領したむねの咨覆
（乾隆五十九《一七九四》）…………… 203
- 二八二一〇六 世孫尚温より礼部あて、乾隆五十五年の進貢使への格別の筵宴・賞賜等についての礼部の咨を受領したむねの咨覆
（乾隆五十九《一七九四》）…………… 204
- 二八二一〇七 世孫尚温より礼部あて、乾隆五十五年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
（乾隆五十九《一七九四》）…………… 205
- 二八二一〇八 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十九年の進貢使を派遣するむねの咨（乾隆五十九《一七九四》、十一、六）…………… 206
- 二八二一〇九 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十九年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆（乾隆五十九《一七九四》）…………… 207
- 二八二一一〇 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十五年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
（乾隆五十九《一七九四》）…………… 207
- 二八二一一一 世孫尚温より福建布政使司あて、国王尚穆の逝去および報喪使の派遣を伝えるむねの咨
（乾隆五十九《一七九四》、十一、六）…………… 208
- 二八二一二二 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十七年の進貢頭号船損壊のため代替替船で帰国させるむねの布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆（乾隆五十九《一七九四》）…………… 210
- 二八二一二三 世孫尚温より福建布政使司あて、琉球の難民官平・比嘉等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆（乾隆五十九《一七九四》）…………… 214
- 二八二一二四 世孫尚温の、進貢のため耳目官向文鳳等を派遣するむねの符文（乾隆五十九《一七九四》）…………… 218
- 二八二一二五 世孫尚温の、進貢のため耳目官向文鳳等を派遣するむねの執照（頭号船）（乾隆五十九《一七九四》）…………… 219
- 二八二一二六 世孫尚温の、進貢のため正議大夫鄭国枢等を派遣するむねの執照（二号船）（乾隆五十九《一七九四》）…………… 220
- 二八二一二七 世孫尚温の、返還する商船への執照（乾隆五十九《一七九四》）…………… 221

二一八二一八 国王尚温より福建布政使司あて、朝鮮国難人を解送するむねの咨（乾隆五十九《一七九四》、三、一二）…………… 221
 二一八二一九 国王尚温の、朝鮮国難人を解送するむねの執照（乾隆五十九《一七九四》、三、一二）…………… 223

卷八三（乾隆六十年～嘉慶元年）

二一八三〇一 福建布政使司より世孫尚温あて、乾隆五十九年の進貢関連事項、返還する雇募の商船の貨物盗難の
 処置等について知らせる咨（嘉慶元《一七九六》、四、二十）…………… 225

二一八三〇二 乾隆帝の、皇太子を冊立し、翌年に讓位することを知らしめる上諭（乾隆六十《一七九五》）…………… 233

二一八三〇三 乾隆帝の、在位継統を上奏する臣下に対し帰政の意志が固いことを表明する上諭（乾隆六十《一七九五》）…………… 237

二一八三〇四 乾隆帝の、乾隆六十一年の時憲書を作るも外省は嘉慶元年の時憲書を用いること等を命ずる上諭
 （乾隆六十《一七九五》）…………… 238

二一八三〇五 乾隆帝の上諭に対する皇太子（嘉慶帝）の上奏（乾隆六十《一七九五》）…………… 240

二一八三〇六 乾隆帝の上諭に対する親王永恩等の上奏（乾隆六十《一七九五》）…………… 242

二一八三〇七 礼部より国王あて、上諭を刊刷して琉球国王に伝えるむねの咨（乾隆六十《一七九五》）…………… 244

二一八三〇八 礼部より国王あて、上諭を刊刷して琉球国王に伝えるむねの咨（乾隆六十《一七九五》）…………… 245

二一八三〇九 礼部より国王あて、上諭を刊刷して琉球国王に伝えるむねの咨（乾隆六十《一七九五》）…………… 245

二一八三一〇 礼部より世孫尚温あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する公文の送付を伝えるむねの咨
 （嘉慶元《一七九六》）…………… 245

二一八三一〇 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶元年の時憲書を用いるようにとの上諭を送付を伝えるむねの咨
 （乾隆六十《一七九五》、十一、二十五）…………… 246

二一八三一一 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する公文の送付を伝えるむねの咨
 （嘉慶元《一七九六》、二、二十九）…………… 247

二一八三一二 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する公文の送付を伝えるむねの咨
 （嘉慶元《一七九六》、二、二十九）…………… 247

二一八三二三 福建布政使司より世孫尚温あて、国王尚穆の逝去および報喪使の派遣を伝える咨を受領したむねの咨…………… 247

(乾隆六十《一七九五》、十二、二十九) ……

二八三二四 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆六十年の接貢船を派遣するむねの咨(乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 248

二八三二五 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆六十年の曆書(時憲書)を受領したむねの咨覆 (乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 247

(乾隆六十《一七九五》、十一、七) ……

二八三二六 世孫尚温より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨(乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 250

二八三二七 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十七年の進貢関連事項の処置、琉球難民の糸数・伊波等の救助・送還等についての布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 250

送還等についての布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆六十《一七九五》、十一、七) ……

二八三二八 世孫尚温より福建布政使司あて、琉球難民の赤嶺・伊波等の救助・送還等についての布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆(乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 260

その措置に謝するむねの咨覆(乾隆六十《一七九五》、十一、七) ……

二八三二九 世孫尚温の、接貢のため都通事鄭天眷等を派遣するむねの執照(乾隆六十《一七九五》、十一、七) …… 264

卷八四(乾隆六十年〜嘉慶二年)

二八四〇一 皇帝より世孫尚温あて、入貢を嘉尚し頒賜するとともに、皇太子への伝位、嘉慶の年号の使用を訓示する勅諭 (乾隆六十《一七九五》、十二、二十九) …… 267

(乾隆六十《一七九五》、十二、二十九) ……

二八四〇二 嘉慶帝の即位の詔(嘉慶元《一七九六》、一、一) …… 267

二八四〇三 礼部より世孫尚温あて、国王尚穆病故により乾隆五十九年の進貢使への例賞・筵宴停止を通知するむねの咨 (嘉慶元《一七九六》、一、〇) …… 271

(嘉慶元《一七九六》、一、〇) ……

二八四〇四 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十九年の進貢使の北京到着と方物受領を知らせる咨(付 上奏文) (嘉慶元《一七九六》、一、〇) …… 272

(嘉慶元《一七九六》、一、〇) ……

二八四〇五 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十九年の謝恩の表を御覽に呈するむねの咨(嘉慶元《一七九六》、二、〇) …… 273

二八四〇六 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十五年の進貢における賞賜への謝恩の表を御覽に呈するむねの咨 (嘉慶元《一七九六》、二、〇) …… 273

(嘉慶元《一七九六》、二、〇) ……

二一八四一〇七 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十九年の進貢の表を御覽に呈するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、二、□）…………… 274

二一八四一〇八 礼部より世孫尚温あて、各国使臣に詔書を頒布するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、一、□）…………… 274

二一八四一〇九 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する公文の送付を伝えるむねの咨（嘉慶元《一七九六》、二、二十九）…………… 274

二一八四一一〇 福建布政使司より世孫尚温あて、礼部の公文三通を送付するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、四、□）…………… 275

二一八四一一一 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶二年の曆書（時憲書）を頒布するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、十二、八）…………… 276

二一八四一二 福建布政使司より世孫尚温あて、琉球の難民武良瑞等の救助・送還、黒糖処理等に関する咨（嘉慶元《一七九六》、五）…………… 276

二一八四一三 福建布政使司より世孫尚温あて、琉球の難民大吏波熙・阿嘉等を救助し、送還するむねの咨（嘉慶二《一七九七》、五、二十五）…………… 282

二一八四一四 福建布政使司より世孫尚温あて、乾隆五十九年の進貢・乾隆六十年の接貢関連事項の処置について知らせる咨（嘉慶二《一七九七》、五、三十）…………… 287

卷八五（嘉慶元年）

二一八五〇一 世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）の伝位を慶賀する表（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 293

二一八五〇二 世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）への謝恩の表（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 294

二一八五〇三 世孫尚温の、嘉慶帝の即位を慶賀する表（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 295

二一八五〇四 世孫尚温の、嘉慶元年の進貢の表（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 296

二一八五〇五 世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）の伝位を慶賀する奏（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 297

二一八五〇六 世孫尚温の、乾隆五十七年の進貢における賞賜への謝恩の奏（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 299

二一八五〇七 世孫尚温の、嘉慶帝の即位を慶賀する奏（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）…………… 300

二一八五〇八	世孫尚温より礼部あて、嘉慶元年の進貢使ならびに慶賀使を派遣するむねの咨（嘉慶元《一七九六》）……………	301
二一八五〇九	世孫尚温より礼部あて、乾隆五十七年の進貢使への賞賜についての礼部の咨を受領したむねの咨覆 （嘉慶元《一七九六》）……………	302
二一八五一〇	世孫尚温より礼部あて、乾隆五十七年の進貢使への格別の筵宴・賞賜等についての礼部の咨を受領したむねの咨覆 （嘉慶元《一七九六》）……………	303
二一八五一一	世孫尚温より礼部あて、乾隆五十七年の謝恩の方物を次回の正貢にあてることを免じ、方物受領を許可した礼部の咨を 受領し、その措置に謝するむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……………	304
二一八五一二	世孫尚温より礼部あて、太上皇帝（乾隆帝）の伝位を慶賀する奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶元《一七九六》）……………	305
二一八五二三	世孫尚温より礼部あて、乾隆五十七年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶元《一七九六》）……………	306
二一八五二四	世孫尚温より礼部あて、嘉慶帝の即位を慶賀する奏の写しを送付するむねの咨（嘉慶元《一七九六》）……………	308
二一八五二五	世孫尚温より礼部あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する咨を受領したむねの咨覆 （嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……………	309
二一八五二六	世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶元年の進貢使を派遣するむねの咨（嘉慶元《一七九六》）……………	310
二一八五二七	世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶元年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……………	311
二一八五二八	世孫尚温より福建布政使司あて、太上皇帝（乾隆帝）の伝位を慶賀する奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶元《一七九六》）……………	312
二一八五二九	世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十七年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶元《一七九六》）……………	313
二一八五三〇	世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶帝の即位を慶賀する奏の写しを送付するむねの咨（嘉慶元《一七九六》）……………	314
二一八五三一	世孫尚温より福建布政使司あて、礼部の公文二通を受領したむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……………	314

二一八五二二 世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶帝即位にあたり慶賀の表・貢物を免除する公文の送付を伝える布政司の咨を

受領したむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……

315

二一八五二三 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十九年の進貢関連事項、返還する雇募の商船の貨物盗難の

処置等について知らせる布政司の咨を受領したむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……

316

二一八五二四 世孫尚温より福建布政使司あて、不明の接貢船を探問するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

324

二一八五二五 世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶元年の時憲書を用いるようにとの公文の送付を伝える布政司の咨を

受領したむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……

324

二一八五二六 世孫尚温より福建布政使司あて、琉球の難民武良瑞等の救助・送還、黒糖処理等に関する布政司の咨を受領し、

その措置に謝するむねの咨覆（嘉慶元《一七九六》）……

325

二一八五二七 世孫尚温より福建布政使司あて、朝鮮難民を護送するむねの咨（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

330

二一八五二八 世孫尚温の、進貢ならびに慶賀のため王舅東邦鼎等を派遣するむねの符文（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

331

二一八五二九 世孫尚温の、進貢ならびに慶賀のため王舅東邦鼎等を派遣するむねの執照（頭号船）

（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

333

二一八五三〇 世孫尚温の、進貢ならびに慶賀のため都通事阮民表等を派遣するむねの執照（二号船）

（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

334

二一八五三一 世孫尚温の、朝鮮難民護送のための執照（嘉慶元《一七九六》、十一、十二）……

335

卷八六（嘉慶二年）

二一八六〇一 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀関連事項の処置について知らせる咨

（嘉慶二《一七九七》、十、十九）……

337

二一八六〇二 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶三年の曆書（時憲書）を頒布するむねの咨

（嘉慶二《一七九七》、十、十一）……

344

二一八六一〇三 世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶二年の接貢船を派遣するむねの咨（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 344
二一八六一〇四 世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶二年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 345

二一八六一〇五 世孫尚温より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 346
二一八六一〇六 世孫尚温より福建布政使司あて、礼部の公文三通を送付する咨を受領したむねの咨覆（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 346

二一八六一〇七 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十九年の進貢・乾隆六十年の接貢関連事項の処置について知らせる
布政司の咨を受領したむねの咨覆（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 347

二一八六一〇八 世孫尚温より福建布政使司あて、琉球の難民大吏波熙・阿嘉等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、
その措置に謝するむねの咨覆（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 351

二一八六一〇九 世孫尚温の、接貢のため都通事阮翼等を派遣するむねの執照（嘉慶二《一七九七》、八、十二）…………… 356

卷八七（嘉慶二年～嘉慶三年）

二一八七〇一 皇帝（嘉慶帝）より世孫尚温あて、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭（嘉慶三《一七九八》）…………… 359
二一八七〇二 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使の北京到着と方物受領を知らせる咨（付 上奏文）
（嘉慶二《一七九七》、十二、□）…………… 360

二一八七〇三 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀の方物を受領するむねの咨（嘉慶三《一七九八》、一、□）…………… 360
二一八七〇四 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使へ頒賞するむねの咨（嘉慶三《一七九八》、一、□）…………… 361

二一八七〇五 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の太上皇帝（乾隆帝）への慶賀の表を御覽に呈するむねの咨
（嘉慶三《一七九八》、一、□）…………… 361

二一八七〇六 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十七年の進貢における賞賜への謝恩の表を御覽に呈するむねの咨
（嘉慶三《一七九八》、一、□）…………… 362

二八七〇七 礼部より世孫尚温あて、乾隆五十七年の進貢における方物受領への謝恩の表を御覧に呈するむねの咨

(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

362

二八七〇八 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢の表を御覧に呈するむねの咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

362

二八七〇九 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への筵宴について知らせる咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

363

二八七一〇 礼部より世孫尚温あて、嘉慶帝即位の慶賀の表を御覧に呈するむねの咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

363

二八七一一 礼部より世孫尚温あて、嘉慶帝の即位を慶賀し、方物を進める表を御覧に呈するむねの咨

(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

363

二八七一二 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への頒賞について知らせる咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

364

二八七一三 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への賞賜・筵宴について知らせる咨

(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

364

二八七一四 礼部より世孫尚温あて、太上皇帝(乾隆帝)を慶賀し、方物を進める表を御覧に呈するむねの咨

(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

364

二八七一五 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への賞賜について知らせる咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

365

二八七一六 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への格外の筵宴・賞賜について知らせる咨

(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

365

二八七一七 礼部より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・慶賀使への頒賞について知らせる咨(嘉慶三《一七九八》、一、□) ……

366

二八七一八 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶元年の進貢・嘉慶二年の接貢関連事項の処置について知らせる咨

(嘉慶三《一七九八》、六、十四) ……

366

二八七一九 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶四年の曆書(時憲書)を頒布するむねの咨

(嘉慶三《一七九八》、十、十四) ……

369

二八七二〇 福建布政使司より世孫尚温あて、琉球の難民新垣等を救助し、送還するむねの咨

(嘉慶三《一七九八》、六、十二) ……

370

卷八八（嘉慶三年）

二一八八一〇一	世孫尚温の、嘉慶三年の進貢の表（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	375
二一八八一〇二	世孫尚温の、襲封を請うむねの表（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	376
二一八八一〇三	世孫尚温の、嘉慶帝即位の宝詔の頒賜への謝恩の表（嘉慶三《一七九八》、□、□）……………	377
二一八八一〇四	世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）への慶賀の表（嘉慶三《一七九八》、□、□）……………	378
二一八八一〇五	世孫尚温の、襲封を請うむねの奏（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	379
二一八八一〇六	世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）への謝恩の奏（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	380
二一八八一〇七	世孫尚温の、太上皇帝（乾隆帝）の恩詔の頒賜への謝恩の奏（嘉慶三《一七九八》、□、□）……………	381
二一八八一〇八	世孫尚温の、乾隆五十九年の進貢における賞賜への謝恩の奏（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	382
二一八八一〇九	世孫尚温より礼部あて、嘉慶三年の進貢使を派遣するむねの咨（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	383
二一八八一〇	世孫尚温より礼部あて、襲封を請う奏の写しを送付するむねの咨（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	383
二一八八一〇一	世孫尚温より礼部あて、太上皇帝（乾隆帝）の恩詔の頒賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶三《一七九八》）……………	384
二一八八一〇二	世孫尚温より礼部あて、太上皇帝（乾隆帝）への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨（嘉慶三《一七九八》）……………	385
二一八八一〇三	世孫尚温より礼部あて、乾隆五十九年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨 （嘉慶三《一七九八》）……………	385
二一八八一〇四	世孫尚温より礼部あて、国王尚穆病故により乾隆五十九年の進貢使への例賞・筵宴停止を通知する咨を受領し、 その措置に謝するむねの咨覆（嘉慶三《一七九八》）……………	386
二一八八一〇五	国王府の法司官向天錫等より礼部あて、世孫尚温の襲封を請うむねの結状（嘉慶三《一七九八》、八、十九）……………	387
二一八八一〇六	世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶三年の進貢使を派遣するむねの咨（嘉慶三《一七九八》）……………	390
二一八八一〇七	世孫尚温より福建布政使司あて、襲封を請う奏の写しを送付するむねの咨（嘉慶三《一七九八》）……………	391

二八八―一八 世孫尚温より福建布政使司あて、太上皇帝（乾隆帝）の恩詔の頒賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
（嘉慶三《一七九八》）…………… 392

二八八―一九 世孫尚温より福建布政使司あて、太上皇帝（乾隆帝）への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
（嘉慶三《一七九八》）…………… 393

二八八―二〇 世孫尚温より福建布政使司あて、乾隆五十九年の進貢における賞賜への謝恩の奏の写しを送付するむねの咨
（嘉慶三《一七九八》）…………… 394

二八八―二二 世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶三年の曆書（時憲書）を受領したむねの咨覆（嘉慶三《一七九八》）…………… 395

二八八―二三 世孫尚温より福建布政使司あて、不明の接貢船を探問するむねの咨（嘉慶三《一七九八》）…………… 395

二八八―二四 世孫尚温より福建布政使司あて、琉球の難民新垣等の救助・送還についての布政司の咨を受領し、その措置に謝するむねの咨覆（嘉慶三《一七九八》、八、十九）…………… 395

二八八―二五 世孫尚温のため耳目官向国垣等を派遣するむねの符文（嘉慶三《一七九八》）…………… 399

二八八―二六 世孫尚温のため耳目官向国垣等を派遣するむねの執照（頭号船）（嘉慶二《一七九八》）…………… 401

二八八―二七 世孫尚温のため都通事金堅等を派遣するむねの執照（二号船）（嘉慶三《一七九八》）…………… 402

卷八九（嘉慶四年）

二八九―〇一 太上皇帝（乾隆帝）の遺詔（嘉慶四《一七九九》、一、二）…………… 403

二八九―〇二 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶三年の進貢関連事項の処置について知らせるむねの咨（嘉慶四《一七九九》、六、七）…………… 408

二八九―〇三 福建布政使司より世孫尚温あて、嘉慶五年の曆書（時憲書）を頒布するむねの咨（嘉慶四《一七九九》、十二、二十七）…………… 412

二八九一〇四	福建布政使司より世孫尚温あて、太上皇帝（乾隆帝）の遺詔の頒賜を知らせる咨（嘉慶四《一七九九》、四、六）……	412
二八九一〇五	福建布政使司より世孫尚温あて、琉球の難民名城等を救助し、送還するむねの咨（嘉慶四《一七九九》、六、六）……	413
二八九一〇六	世孫尚温より福建布政使司あて、嘉慶四年の接貢船および冊封使迎接のための使臣を派遣するむねの咨 （嘉慶四《一七九九》、八、七）……	416
二八九一〇七	世孫尚温より福建布政使司あて、冊封使迎接のため正議大夫梁煥を派遣するむねの咨 （嘉慶四《一七九九》、八、七）……	416
二八九一〇八	世孫尚温より欽差正副使あて、冊封使迎接のため正議大夫梁煥を派遣するむねの咨 （嘉慶四《一七九九》、八、七）……	417
二八九一〇九	世孫尚温より福建布政使司あて、福州柔遠駅の補修に謝するむねの咨（嘉慶四《一七九九》、八、七）……	418
二八九一一〇	世孫尚温より福建布政使司あて、不明の進貢船を探問するむねの咨（嘉慶四《一七九九》、八、七）……	419
二八九一一一	世孫尚温の、冊封使迎接および接貢のため正議大夫梁煥等を派遣するむねの執照（嘉慶四《一七九九》、八、七）……	419
付 録		
○語注索引		
	・漢字検索のための総画数一覧 ……………	421
	①語句索引 ……………	427
	②人名・地名索引 ……………	441